



平成31年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年8月7日

上場会社名 株式会社ジャムコ 上場取引所 東
 コード番号 7408 URL <https://www.jamco.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大喜多 治年
 問合せ先責任者(役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 後藤 健太郎 (TEL) 042-503-9145
 四半期報告書提出予定日 平成30年8月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第1四半期の連結業績(平成30年4月1日~平成30年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第1四半期	22,117	25.1	1,456	—	1,609	—	981	—
30年3月期第1四半期	17,679	△10.8	68	—	69	—	△323	—

(注) 包括利益 31年3月期第1四半期 945百万円(—%) 30年3月期第1四半期 △171百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第1四半期	36.59	—
30年3月期第1四半期	△12.05	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第1四半期	97,397	29,962	30.0
30年3月期	94,456	29,553	30.4

(参考) 自己資本 31年3月期第1四半期 29,182百万円 30年3月期 28,752百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00
31年3月期	—	—	—	—	—
31年3月期(予想)	—	0.00	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日~平成31年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	40,300	5.9	1,550	△18.7	1,400	△25.3	930	△10.1	34.66
通期	81,900	5.3	3,110	△30.4	2,680	△23.5	1,800	7.0	67.10

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	31年3月期1Q	26,863,974株	30年3月期	26,863,974株
② 期末自己株式数	31年3月期1Q	38,762株	30年3月期	38,762株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	31年3月期1Q	26,825,212株	30年3月期1Q	26,825,228株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間は、米国経済が着実に成長し、日本及びユーロ圏も緩やかな景気回復が続き、中国も景気の持ち直しの動きが見られるなど、世界経済全体は堅調に推移しました。為替相場は、通商問題の動向などで先行きが不透明な状況でありましたが、ドル円為替相場は、対米ドル円レート105円台から111円台の範囲で概ね円安傾向に推移しました。

航空輸送業界では、格安航空会社（LCC）の攻勢による競争の激化が続いている一方、世界的な航空需要の拡大により、大手エアラインは需要の大きい運航路線の獲得、客室サービスの向上、LCCへの参画など様々な戦略を打ち出しています。航空機メーカーでは、航空機需要の高まりを背景に、高水準の受注残機数を維持しており、2018年ファンボロー航空ショーでは大手航空機メーカーが前年以上の記録的な受注を獲得するなど航空機市場は引き続き堅調に推移すると見込まれています。また、ボーイングとエアバスによるリージョナル機メーカーとの戦略的提携が行われるなど歴史的な再編の動きを見せています。

こうしたなか当社グループでは、航空機内装品等製造関連においては、生産効率改善とコスト削減の取組みを進めると共に、ボーイング777型機の後継機となる777X型機向けラバトリーの出荷を開始しました。

航空機シート等製造関連においては、生産効率改善とコスト削減の取組みを進めると共に、新製品のスタンダード・シートの受注拡大に努めました。

航空機器等製造関連においては、生産性改善の取組みを進めると共に、航空機エンジン部品の生産量増加への取組みを進めました。

航空機整備等関連においては、飛行安全の確保と品質向上の取組みを継続すると共に、各種サービスの充実と収益改善の取組みを進めました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高 22,117百万円（前年同四半期比 4,438百万円増）、営業利益 1,456百万円（前年同四半期比 1,388百万円増）、経常利益 1,609百万円（前年同四半期比 1,540百万円増）、親会社株主に帰属する四半期純利益 981百万円（前年同四半期は、親会社株主に帰属する四半期純損失 323百万円）となりました。

なお、当第1四半期連結会計期間末に次期以降の完成工事に対する工事損失引当金を 2,584百万円計上しております。この工事損失引当金による期間損益への影響は、当第1四半期連結累計期間において売上原価 517百万円の増加（平成30年3月期末の工事損失引当金は、2,066百万円）となりました。

グループ全体の販売費及び一般管理費、営業外損益、特別損益の状況は次のとおりです。

販売費及び一般管理費は、販売手数料、保証工事費の増加等により 2,323百万円（前年同四半期比 186百万円増）となりました。

営業外損益は、前連結会計年度末よりも為替相場が円安で推移し為替差損益が改善したことなどにより、152百万円増加して 153百万円の益（前年同四半期は、1百万円の益）となりました。

特別損益は、固定資産処分損等により、78百万円の損（前年同四半期は、23百万円の損）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりです。

[航空機内装品等製造関連]

当事業では、ボーイングが開発中の777X型機への移行の端境期により現行の777型機向けギャレー及びラバトリーの出荷数減少の影響を受けましたが、777X型機の飛行試験用ラバトリーの初出荷やスペアパーツ販売の増加の影響などにより、前年同四半期に比べ売上高は増加しました。

一方、経常利益については、売上高増加の影響があったものの、一部プログラムの初期コストの増加などにより工事損失引当金を追加計上したことによる原価増の影響を受けました。

この結果、航空機内装品等製造関連は、売上高 14,889百万円（前年同四半期比 1,650百万円増）、経常利益 1,622百万円（前年同四半期比 522百万円減）となりました。

[航空機シート等製造関連]

当事業では、製品出荷が増加したことにより、前年同四半期に比べ売上高は増加しました。又、経常損益については、前年同四半期に初期コスト増加により追加計上した工事損失引当金の反動や採算性の良いプログラムの出荷などにより前年同四半期に比べ改善しました。

この結果、航空機シート等製造関連は、売上高 4,760百万円（前年同四半期比 3,034百万円増）、経常利益 5百万円（前年同四半期は、経常損失 1,984百万円）となりました。

[航空機器等製造関連]

当事業では、航空機エンジン部品の出荷量増加があったものの、熱交換器等防衛関連の出荷量減少の影響を受けたことにより、前年同四半期に比べ売上高は減少しましたが、生産性が向上したことなどにより、経常損益は改善しました。

この結果、航空機器等製造関連は、売上高 1,246百万円（前年同四半期比 125百万円減）、経常利益 12百万円（前年同四半期は、経常損失 53百万円）となりました。

[航空機整備等関連]

当事業では、一部機体整備の納期変更など完成工事が減少したことにより、前年同四半期に比べ売上高は減少し、コスト削減の取組みにより経常損益は改善したものの経常損失となりました。

この結果、航空機整備等関連は、売上高 1,221百万円（前年同四半期比 120百万円減）、経常損失 32百万円（前年同四半期は、経常損失 37百万円）となりました。

[その他]

その他の区分には、連結子会社の(株)オレンジジャムコの事業を含んでおり、航空機内装品等製造関連の補助作業等セグメント間の内部取引が中心で、順調に進めることができました。

この結果、その他の区分では、売上高 0百万円（前年同四半期比 0百万円減）、経常利益 1百万円（前年同四半期比 0百万円増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産・負債・純資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は97,397百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,940百万円増加しました。内、流動資産については、原材料及び貯蔵品の減少(前期比188百万円減)等がありましたが、現金及び預金の増加(前期比2,023百万円増)、受取手形及び売掛金の増加(前期比144百万円増)、仕掛品の増加(前期比461百万円増)等により流動資産合計で前連結会計年度末に比べ2,677百万円増加しました。又、固定資産については、当第1四半期連結累計期間の投資案件が比較的少なかったことから有形固定資産の減少(前期比91百万円減)、無形固定資産の減少(前期比149百万円減)がありましたが、投資その他の資産の増加(前期比503百万円増)により固定資産合計で前連結会計年度末に比べ262百万円増加しました。

負債合計は67,434百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,531百万円増加しました。主な要因は、借入金の減少(前期比894百万円減)等がありましたが、賞与引当金の増加(前期比830百万円増)、工事損失引当金の増加(前期比517百万円増)等によるものです。

純資産合計は29,962百万円となり、前連結会計年度末に比べ408百万円増加しました。主な要因は、利益剰余金の増加(前期比445百万円増)等によるものです。この結果、自己資本比率は30.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績は、平成30年5月8日に公表した連結業績予想値に対して、利益面の進捗は想定を上回りました。これは、航空機内装品等製造関連や航空機シート等製造関連の売上が堅調に推移したこと、為替レートが想定より円安傾向で推移したことなどによるものです。現時点において、連結業績予想の前提となる為替レートは105円/米ドルから変更しておらず、第2四半期連結累計期間及び連結会計年度の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,833,880	5,856,911
受取手形及び売掛金	22,451,904	22,596,298
商品及び製品	715,123	802,268
仕掛品	27,009,919	27,471,341
原材料及び貯蔵品	14,933,273	14,744,636
その他	3,770,053	3,923,821
貸倒引当金	△2,944	△6,070
流動資産合計	72,711,210	75,389,208
固定資産		
有形固定資産	13,840,417	13,748,865
無形固定資産	1,943,674	1,794,246
投資その他の資産	5,961,625	6,464,725
固定資産合計	21,745,718	22,007,837
資産合計	94,456,929	97,397,045
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,518,512	7,868,055
電子記録債務	7,462,195	7,620,456
短期借入金	22,239,114	20,744,896
1年内返済予定の長期借入金	900,000	1,600,000
未払法人税等	611,221	969,402
賞与引当金	1,604,173	2,434,849
工事損失引当金	2,066,719	2,584,623
その他	9,900,322	11,073,237
流動負債合計	52,302,258	54,895,523
固定負債		
長期借入金	4,500,000	4,400,000
役員退職慰労引当金	184,006	-
執行役員退職慰労引当金	129,501	-
退職給付に係る負債	6,876,571	6,901,170
損害補償損失引当金	203,751	256,894
その他	706,975	981,077
固定負債合計	12,600,807	12,539,143
負債合計	64,903,066	67,434,666

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,359,893	5,359,893
資本剰余金	4,367,993	4,367,993
利益剰余金	19,039,542	19,484,544
自己株式	△30,772	△30,772
株主資本合計	28,736,656	29,181,658
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	177,595	192,099
繰延ヘッジ損益	72,818	△120,411
為替換算調整勘定	△46,134	103,804
退職給付に係る調整累計額	△188,623	△174,932
その他の包括利益累計額合計	15,656	560
非支配株主持分	801,550	780,159
純資産合計	29,553,862	29,962,378
負債純資産合計	94,456,929	97,397,045

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
売上高	17,679,125	22,117,737
売上原価	15,473,189	18,337,383
売上総利益	2,205,935	3,780,353
販売費及び一般管理費	2,137,384	2,323,457
営業利益	68,550	1,456,896
営業外収益		
受取利息	1,771	7,317
受取配当金	3,056	3,272
為替差益	-	266,853
持分法による投資利益	5,371	7,283
助成金収入	44,793	47,557
受取保険金	33,000	-
契約解約金	28,050	-
その他	5,644	5,005
営業外収益合計	121,686	337,290
営業外費用		
支払利息	82,223	98,285
為替差損	22,671	-
支払補償費	-	53,143
その他	15,751	32,770
営業外費用合計	120,645	184,200
経常利益	69,591	1,609,987
特別損失		
固定資産処分損	23,672	78,998
特別損失合計	23,672	78,998
税金等調整前四半期純利益	45,918	1,530,988
法人税、住民税及び事業税	869,727	947,947
法人税等調整額	△489,290	△356,004
法人税等合計	380,437	591,943
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△334,518	939,044
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△11,169	△42,461
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△323,348	981,506

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△334,518	939,044
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	39,099	14,503
繰延ヘッジ損益	77,045	△193,229
為替換算調整勘定	20,834	171,516
退職給付に係る調整額	23,404	13,691
持分法適用会社に対する持分相当額	2,272	△506
その他の包括利益合計	162,656	5,975
四半期包括利益	△171,861	945,020
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△165,439	966,411
非支配株主に係る四半期包括利益	△6,421	△21,391

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

当第1四半期連結累計期間
(自 平成30年4月1日 至 平成30年6月30日)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(役員退職慰労金制度の廃止)

当社は、役員の退職慰労金の支払いに備えて内規に基づく期末要支給額を「役員退職慰労引当金」に、執行役員の退職慰労金の支払いに備えて内規に基づく期末要支給額を「執行役員退職慰労引当金」に計上していましたが、平成30年6月27日開催の定時株主総会終結の時をもって役員及び執行役員の退職慰労金制度を廃止し、在任期間に対応する退職慰労金を打切り支給することとしました。

これにより、「役員退職慰労引当金」及び「執行役員退職慰労引当金」の328,953千円を全額取り崩し、打切り支給額の未払分を「長期未払金」として計上いたしました。なお、当該長期未払金は、固定負債「その他」に含めて表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	航空機 内装品等 製造関連	航空機 シート等 製造関連	航空機器等 製造関連	航空機 整備等関連	計		
売上高							
外部顧客への売上高	13,238,135	1,725,814	1,372,418	1,342,744	17,679,113	11	17,679,125
セグメント間の内部 売上高又は振替高	595,539	-	197	100,319	696,056	26,147	722,204
計	13,833,674	1,725,814	1,372,615	1,443,064	18,375,170	26,159	18,401,329
セグメント利益 又は損失(△)	2,145,258	△1,984,933	△53,673	△37,704	68,947	644	69,591

(注) 「その他」の区分には、関係会社の株オレンジジャムコの事業を含んでおります。株オレンジジャムコは企業の社会的責任の一つである障がい者の雇用促進のための特例子会社であり、当社工場内の補助的作業を行っております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	68,947
「その他」の区分の利益	644
四半期連結損益計算書の経常利益	69,591

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する事項

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 平成30年4月1日 至 平成30年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	航空機 内装品等 製造関連	航空機 シート等 製造関連	航空機器等 製造関連	航空機 整備等関連	計		
売上高							
外部顧客への売上高	14,889,048	4,760,175	1,246,645	1,221,859	22,117,728	9	22,117,737
セグメント間の内部 売上高又は振替高	410,507	37,768	6,511	25,603	480,390	27,386	507,776
計	15,299,555	4,797,943	1,253,157	1,247,462	22,598,118	27,395	22,625,514
セグメント利益 又は損失(△)	1,622,761	5,989	12,432	△32,433	1,608,750	1,236	1,609,987

(注) 「その他」の区分には、関係会社の株オレンジジャムコの事業を含んでおります。株オレンジジャムコは企業の社会的責任の一つである障がい者の雇用促進のための特例子会社であり、当社工場内の補助的作業を行っております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,608,750
「その他」の区分の利益	1,236
四半期連結損益計算書の経常利益	1,609,987

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する事項

該当事項はありません。